

第2回学校運営協議会議事録

2018年10月30日（火）

午後3時30分～

北畠会館

1. 学校長挨拶

2. 委員紹介

教頭より各委員の紹介、挨拶

委員より→来年4月より大阪府大と市立大の法人統合になる

入試システムの変更等もありタイムリーな意見をお願いしたい

3. 学校の取り組み・進捗状況

（1）学校経営計画について（校長）

（2）進路指導

- ・ポートフォリオ（紙ベース）の取り組みを開始

（3）国際文化科の取組み

- ・ツールとしての英語を使用して国際理解、グローバルな世界へ
- ・国際取り組みについて

（4）総合科学科の取組み

- ・課題研究の取り組み強化
- ・実験合宿について

（5）生活指導

- ・遅刻について（10月は減少、傾向の変化）

（6）住吉改革委員会（教頭）

- ・住吉改革委員会（S I C）取り組みの進捗状況

①学習指導PT ②ICT推進PT ③行事検討PT

④広報推進PT ⑤カリキュラム検討委員会

4. 質疑、応答（質問：Q 回答：→ 助言・講評：B）

Q：進路指導はどのような感じか。

→ 総合科学学科は理系へ、国際文化学科は法学、経済、文学などの文系へ進学している。
両学科とも、英語を使用する生徒が多い。

B：総合科学学科の生徒で英語の得意な生徒が増えると良い。
進路の選択で相互があればよい。

Q：懲戒と遅刻の関連はあるか。

→ 件数が少ないので遅刻との関連はまだわからない。

Q：自転車の安全指導はどうしているのか。また、近隣の苦情はあるか。

→ 自転車指導に関しては、校門からの飛び出しや傘さし、イヤフォンを着用しながらの運転者への注意を行っている。横断歩道の描き直し依頼している。

また、挨拶指導も行っている。

近隣からの苦情に関しては、10月に実施した体験授業の際「阪堺電車停留所付近が大混雑している」などの苦情電話があった。

B：様々なことに取り組んでおり熱心である。遅刻を減らすことは困難であるので、ある程度の幅があるのは仕方がないこと。住吉高校生も多忙な生活を送っているのではないかな。

Q：不登校生徒はいるか。

→ 学校全体で数名いる。原因も様々である。個別に相談にのっている。

B：総合科学科の来年、再来年の国際共同研究計画はすばらしい取り組みであり後援会として応援したい。

Q：遅刻は保護者の問題もあるのでは。保護者に来てもらうのはどうか。

→ 遅刻が続いたら挨拶指導を行っている。保護者に来てもらうこともある。

保護者に頻繁に来てもらうのも良い案である。

3年生よりも2年生の遅刻が多かったが、粘り強く指導を行った結果、少しずつ落ち着いてきた。

Q：eポートフォリオへ移行する学校が多い。展望はどうか。何から始めようとしているか。

→ スマートフォンを用いた取り組みについては慎重に考えていかなければならない。

Q：生徒にスマートフォンをどのように指導しているか。

→ 授業中の使用には、強く注意を促している。必要なこと以外の使用をやめるよう指導している。また、保護者から「スマートフォンの使用方法について指導して下さい」という要望もあった。

ゲームだけではなく、しっかりした情報収集に使用してほしい。タブレットがいいかもしれないが、環境が整っておらず平等に使わせられない。

B：高校から大学の単位をとらせる取り組みが始まる。

忙しくなるが、住吉高校は実施していけるのではないかな。

Q：ICT整備は府教委の仕事であるが、住吉高校がリーダーになってもよいでは。

→ 同窓会 ICT化は決定しており急いでいる状態である。

Q：外部人材の活用はどのように考えているのか。アイデアはあるのか。

→ ・スクールカウンセラーの派遣

・通訳、日本語指導

B：ボランティアコーディネーター（ドイツ）があるそうだ。ひとつの方法だと思う

B：スクールソーシャルワーカーがいるとよい。教員の仕事の負担の軽減になる。

OBが調整役を行うのも一つの方法である。

Q：OBに人材バンクはあるのか。

→ 「住高支援ネットワーク」への登録システムを構築した。

5. 次回の開催予定

2月21日～26日のいずれかを予定

6. 校長謝辞